

## 論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Association between pre-pregnancy calcium intake and hypertensive disorders during the first pregnancy: the Japan environment and children's study

和文タイトル: 妊娠前カルシウム摂取量と妊娠高血圧症候群の発症の関連についての調査

ユニットセンター(UC)等名: 福島UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: BMC pregnancy and childbirth

年: 2020 月: 7 巻: 頁:

筆頭著者名: 経塚 標

所属UC名: 福島UC

目的:

妊娠前の日常的カルシウム摂取量と妊娠高血圧症候群の関連を調べた報告はありません。今回妊娠前のカルシウム推定摂取量と妊娠高血圧症候群の発症の関連について調べました。

方法:

自己質問用紙から妊娠前のカルシウム摂取量を推定し、カルシウムの摂取量から妊婦を5群に分類し、カルシウム摂取量による母体の背景を比較しました。またカルシウム摂取量の閾値を500, 550, 650, 700, 1000, 1500, 2000 mg/日とした場合の妊娠高血圧症候群の発症リスクを調べました。

結果:

社会的困難な背景(低教育、低収入、喫煙)が高いほど、一日のカルシウム摂取量が低いことが明らかになりました。しかしカルシウム摂取量をどの閾値にしても妊娠高血圧症候群の発症には差を認めませんでした。

考察:(研究の限界を含める)

カルシウム摂取と妊娠高血圧症候群について、今まで様々な議論がされてきました。しかし、今回の調査において妊娠前のカルシウム摂取と妊娠高血圧症候群の発症には関連は見られませんでした。今回の調査の限界点として、カルシウム量に影響を与えるビタミンDの摂取は考慮していません。またカルシウム摂取量は自己質問票による推定値であり、実際の血液中のカルシウム濃度を測定したわけではありません。

結論:

妊娠高血圧症候群発症予防を目的とした、妊娠前のカルシウム摂取量には具体的な根拠を見出すことはできませんでした。